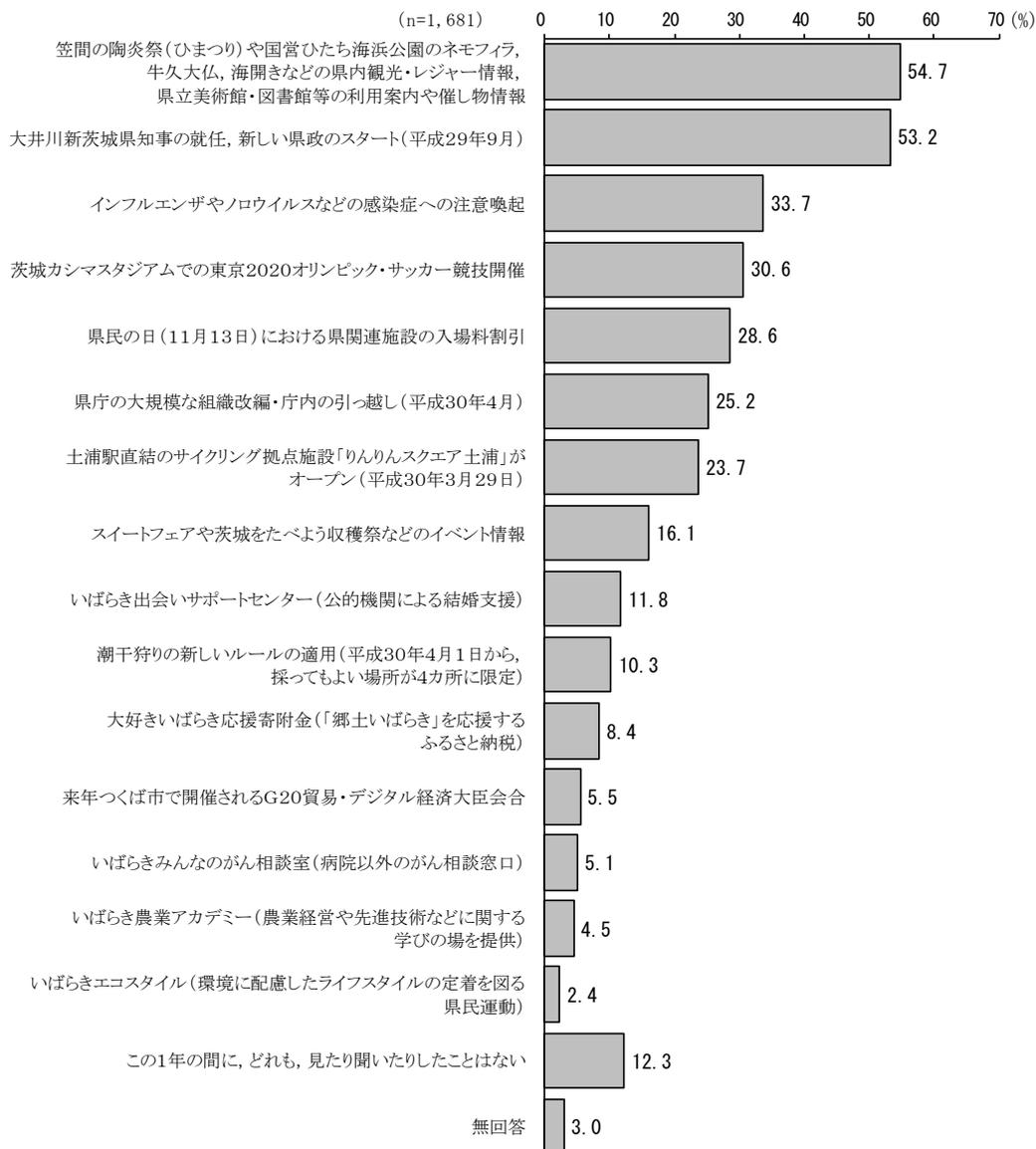


VIII 広報活動

1. 見聞きしたことがある県政情報

- －「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報，県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」と「大井川新茨城県知事の就任，新しい県政のスタート（平成29年9月）」がいずれも5割台半ば－

問26 県では，県政情報をさまざまな方法によりお知らせしています。県政情報の例としては，次のようなものが挙げられますが，あなたがこの1年の間に一度でも見たり，聞いたりしたものはどれですか。（〇はいくつでも）



この1年の間に一度でも見たり，聞いたりした県政情報としては，「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報，県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」（54.7%）と「大井川新茨城県知事の就任，新しい県政のスタート（平成29年9月）」（53.2%）がいずれも5割台半ばと高くなっている。次いで，「インフルエンザやノロウイルスなどの感染症への注意喚起」（33.7%）が3割台半ばで続いている。

―**県央で「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報，県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」が約7割**―

地域別でみると，「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報，県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」は，県央（68.0%）で約7割と最も高くなっている。

―**鹿行で「茨城カシマスタジアムでの東京2020オリンピック・サッカー競技開催」が約6割**―

地域別でみると，「茨城カシマスタジアムでの東京2020オリンピック・サッカー競技開催」は，鹿行（57.7%）で約6割と最も高くなっている。

―**女性で「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報，県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」が男性よりも約19ポイント高い**―

性別でみると，「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報，県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」は，女性（64.2%）が男性（45.0%）よりも約19ポイント高くなっている。

―**女性で「県民の日（11月13日）における県関連施設の入場料割引」が男性よりも約12ポイント高い**―

性別でみると，「県民の日（11月13日）における県関連施設の入場料割引」は，女性（34.5%）が男性（22.4%）よりも約12ポイント高くなっている。

―**女性の60～64歳，70歳以上で「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報，県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」が約7割**―

性・年齢別でみると，「笠間の陶炎祭（ひまつり）や国営ひたち海浜公園のネモフィラ，牛久大仏，海開きなどの県内観光・レジャー情報，県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報」は，女性の60～64歳（68.7%），70歳以上（70.9%）で約7割と高くなっている。

―**男女の70歳以上で「大井川新茨城県知事の就任，新しい県政のスタート（平成29年9月）」が7割超**―

性・年齢別でみると，「大井川新茨城県知事の就任，新しい県政のスタート（平成29年9月）」は，男性の70歳以上（72.4%）と女性の70歳以上（72.0%）で7割を超えて高くなっている。

図Ⅷ 26-1 見聞きしたことのある県政情報

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位7項目)

笠間の陶炎祭 (ひまつり) や国営ひたち海浜公園のネモフィラ、牛久大仏、海開きなどの県内観光・レジャー情報、県立美術館・図書館等の利用案内や催し物情報

大井川新茨城県知事の就任、新しい県政のスタート (平成29年9月)

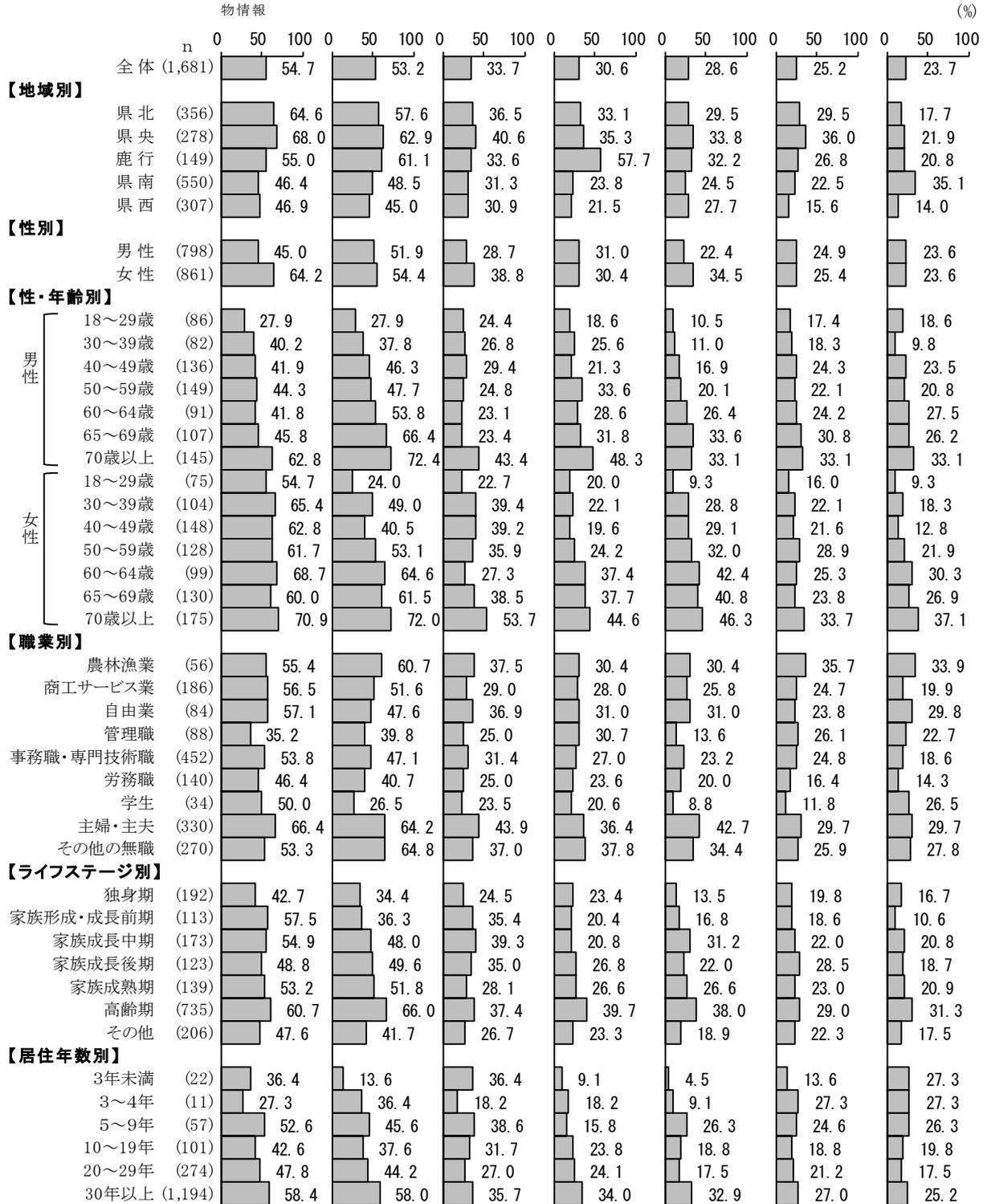
インフルエンザやノロウイルスなどの感染症への注意喚起

茨城カシマスタジアムでの東京2020オリンピック・サッカー競技開催

県民の日 (1月13日) における県関連施設の入場料割引

県庁の大規模な組織改編・庁内の引越越し (平成30年4月)

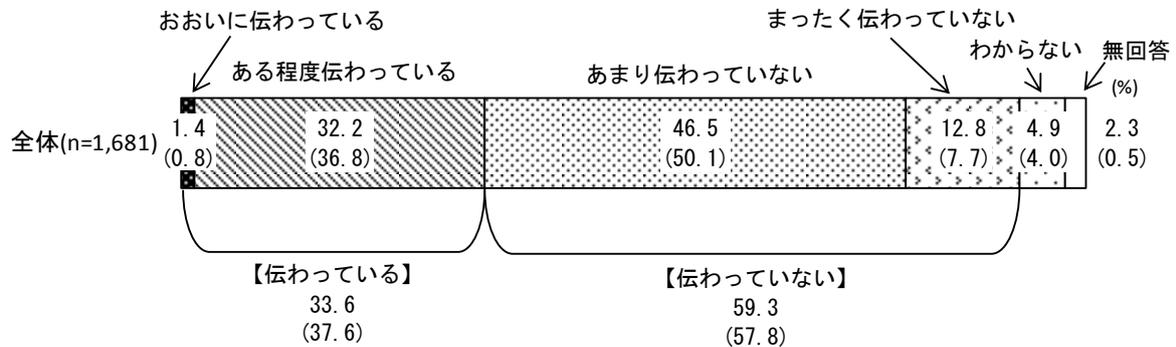
土浦駅直結のサイクリング拠点施設「りんりんスクエア土浦」がオープン (平成30年3月29日)



2. 県政情報の到達度

－【伝わっている】は3割台半ば－

問27 県では、このような県政情報やそれ以外の多くの情報を、さまざまな方法でお知らせしています。県からのお知らせ、県関連イベント、県の事業・行政サービスの情報などは、あなたに伝わっていますか。（〇は1つだけ）



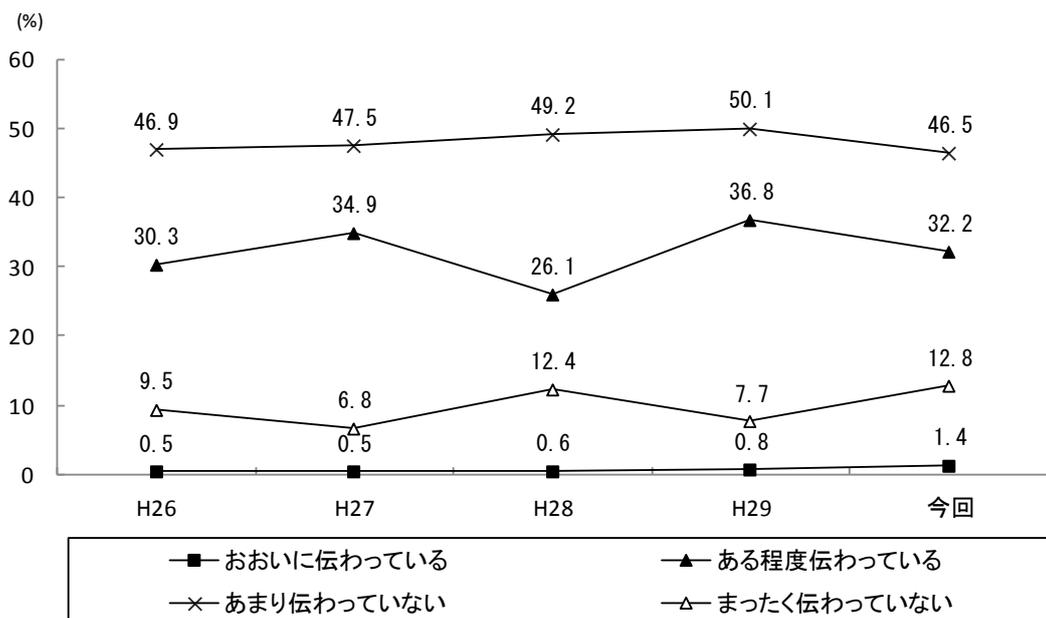
※()内の数値は、平成29年の調査結果（個別面接聴取法で実施）

県政情報の到達度としては、「おいに伝わっている」（1.4%）と「ある程度伝わっている」（32.2%）を合わせた【伝わっている】（33.6%）は3割台半ばとなっている。一方、「あまり伝わっていない」（46.5%）と「まったく伝わっていない」（12.8%）を合わせた【伝わっていない】（59.3%）は約6割となっている。

－【伝わっている】が4ポイント減少－

前回調査（昨年）と比べると、【伝わっている】が4ポイント減少している。

図Ⅷ 27-1 県政情報の到達度（時系列）



ー県央で【伝わっている】が4割台半ばー

地域別でみると，【伝わっている】は，県央（43.9％）で4割台半ばと最も高くなっている。

ー女性で【伝わっている】が男性よりも約5ポイント高いー

性別でみると，【伝わっている】は，女性（36.0％）が男性（30.6％）よりも約5ポイント高くなっている。

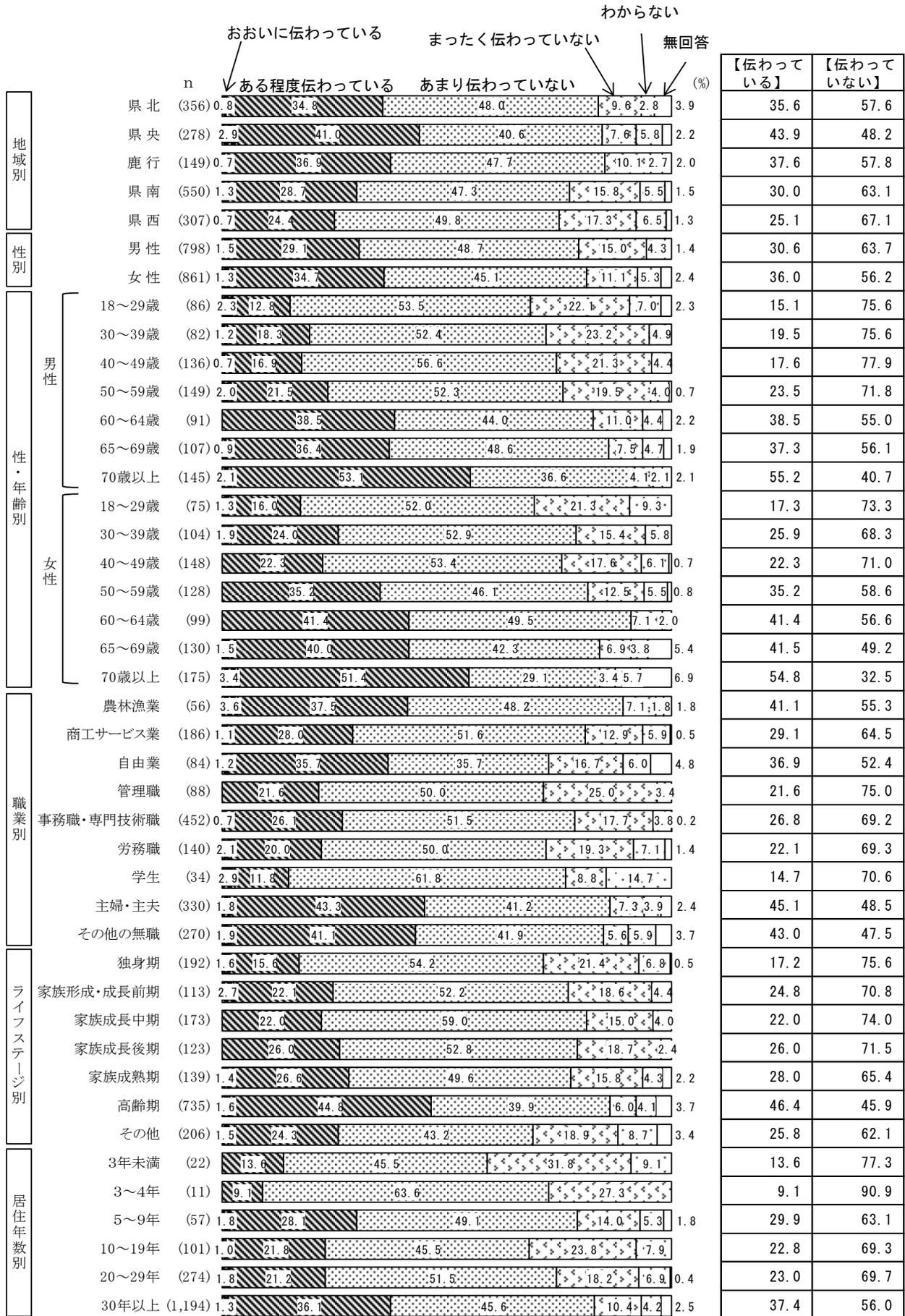
ー男女の70歳以上で【伝わっている】が5割台半ばー

性・年齢別でみると，【伝わっている】は，男性の70歳以上（55.2％），女性の70歳以上（54.8％）で5割台半ばと高くなっている。

ー主婦・主夫，その他の無職で【伝わっている】が4割台半ばー

職業別でみると，【伝わっている】は，主婦・主夫（45.1％），その他の無職（43.0％）で4割台半ばと高くなっている。

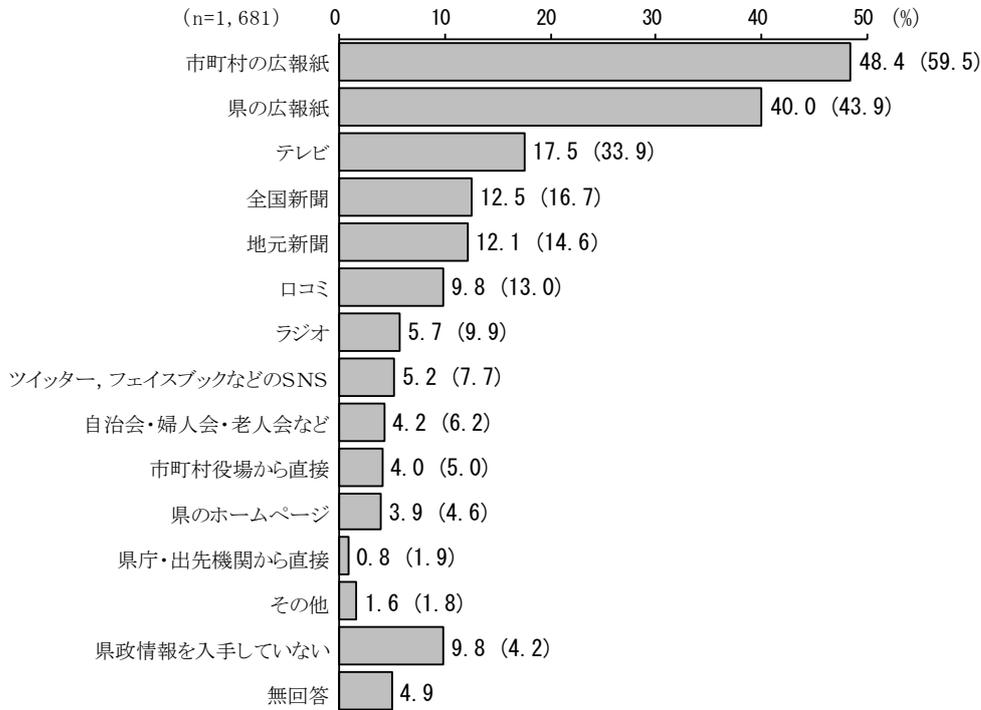
図Ⅷ 27-2 県政情報の到達度
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



3. 県政情報の主な入手先

－「市町村の広報紙」は約5割－

問28 あなたは、県からのお知らせ、県関連イベント、県の事業・行政サービスなどの県政情報を主にどこから入手していますか。（〇は3つまで）



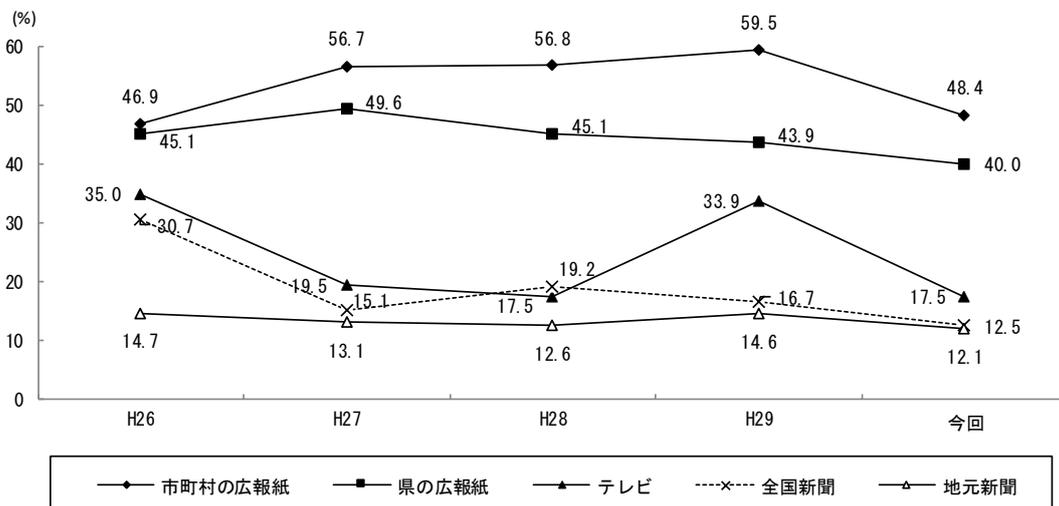
※()内の数値は、平成29年の調査結果（個別面接聴取法で実施）

県政情報の主な入手先としては、「市町村の広報紙」（48.4%）が約5割で最も高く、次いで、「県の広報紙」（40.0%）が4割、「テレビ」（17.5%）が約2割で続いている。

－「テレビ」が約16ポイント減少－

前回調査（昨年）と比べると、「テレビ」が約16ポイント、「市町村の広報紙」が約11ポイント減少している。

図Ⅷ 28-1 県政情報の主な入手先（時系列）



－女性で「市町村の広報紙」が男性よりも約11ポイント高い－

性別でみると、「市町村の広報紙」は、女性（53.7%）が男性（43.2%）よりも約11ポイント高くなっている。

－男女の70歳以上で「市町村の広報紙」が6割台前半－

性・年齢別でみると、「市町村の広報紙」は、男性の70歳以上（60.0%）と女性の70歳以上（61.1%）で6割台前半と高くなっている。

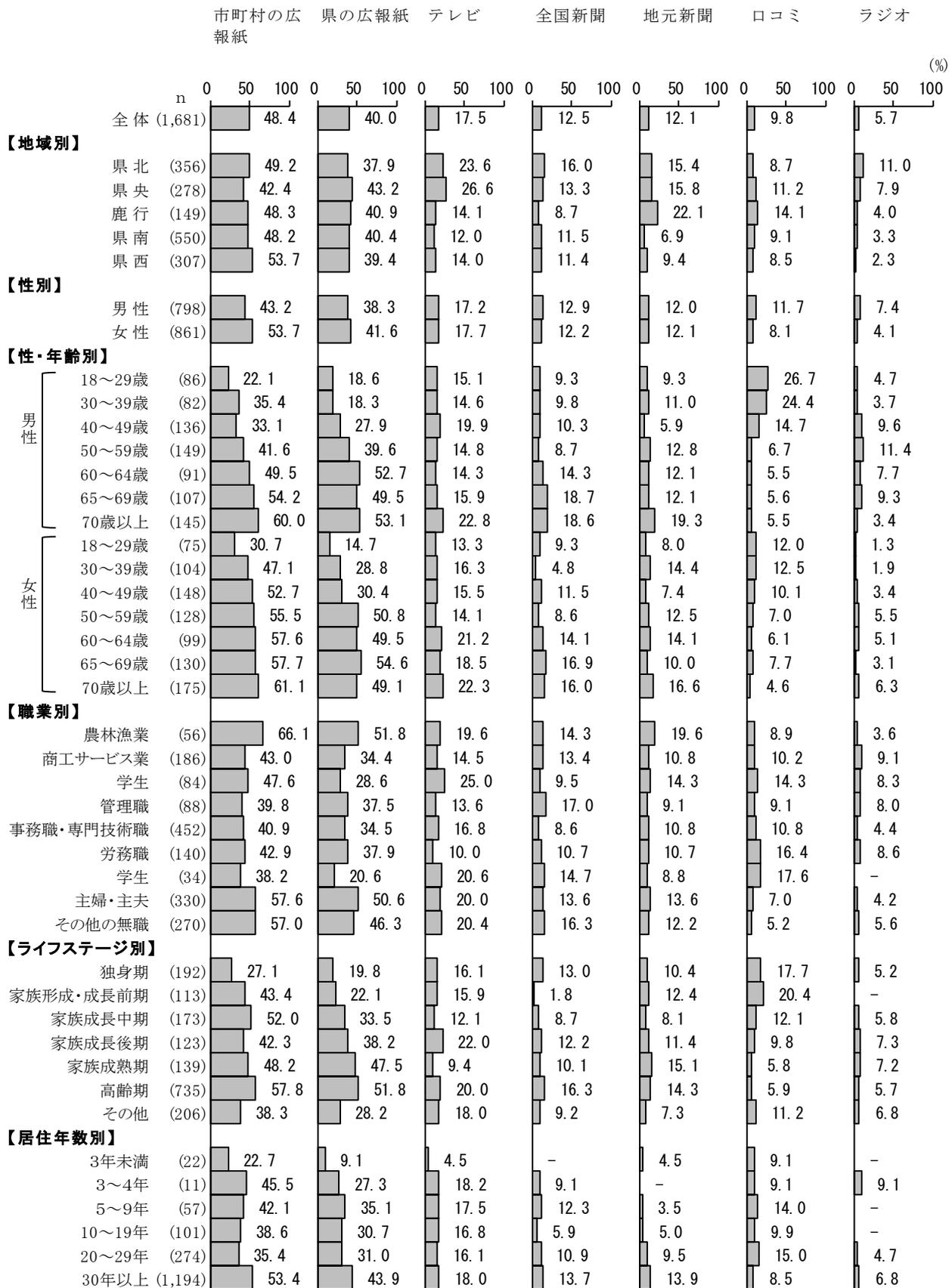
－男性の60～64歳，70歳以上，女性の50代，65～69歳で「県の広報紙」が5割台前半－

性・年齢別でみると、「県の広報紙」は、男性の60～64歳（52.7%），70歳以上（53.1%），女性の50代（50.8%），65～69歳（54.6%）で5割台前半と高くなっている。

－農林漁業で「市町村の広報紙」が6割台半ば，「県の広報紙」が5割超－

職業別でみると、農林漁業で「市町村の広報紙」（66.1%）が6割台半ば，「県の広報紙」（51.8%）が5割を超え，それぞれ最も高くなっている。

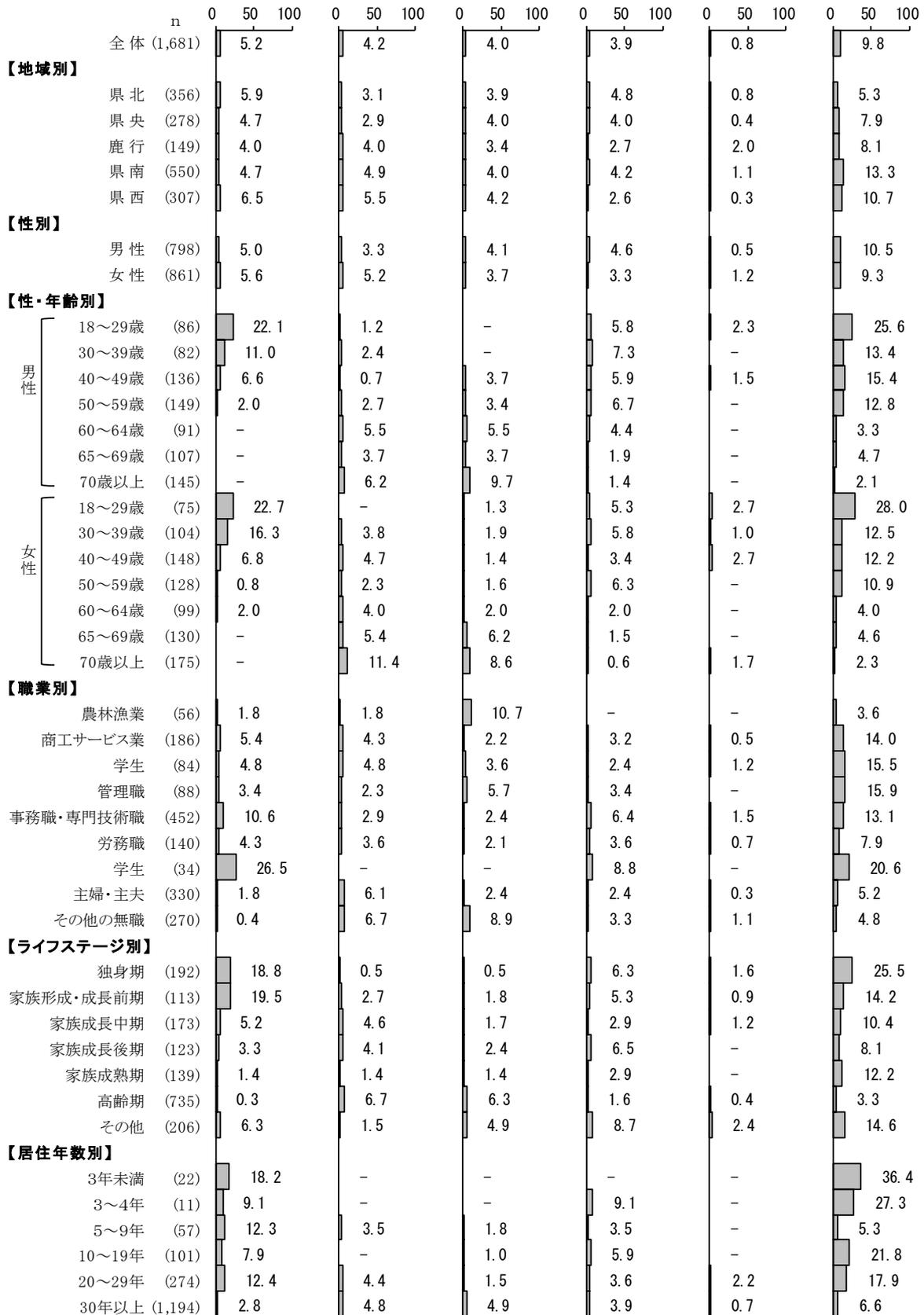
図Ⅷ 28-2 県政情報の主な入手先
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



〈続き〉図Ⅷ 28-2 県政情報の主な入手先
 (地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

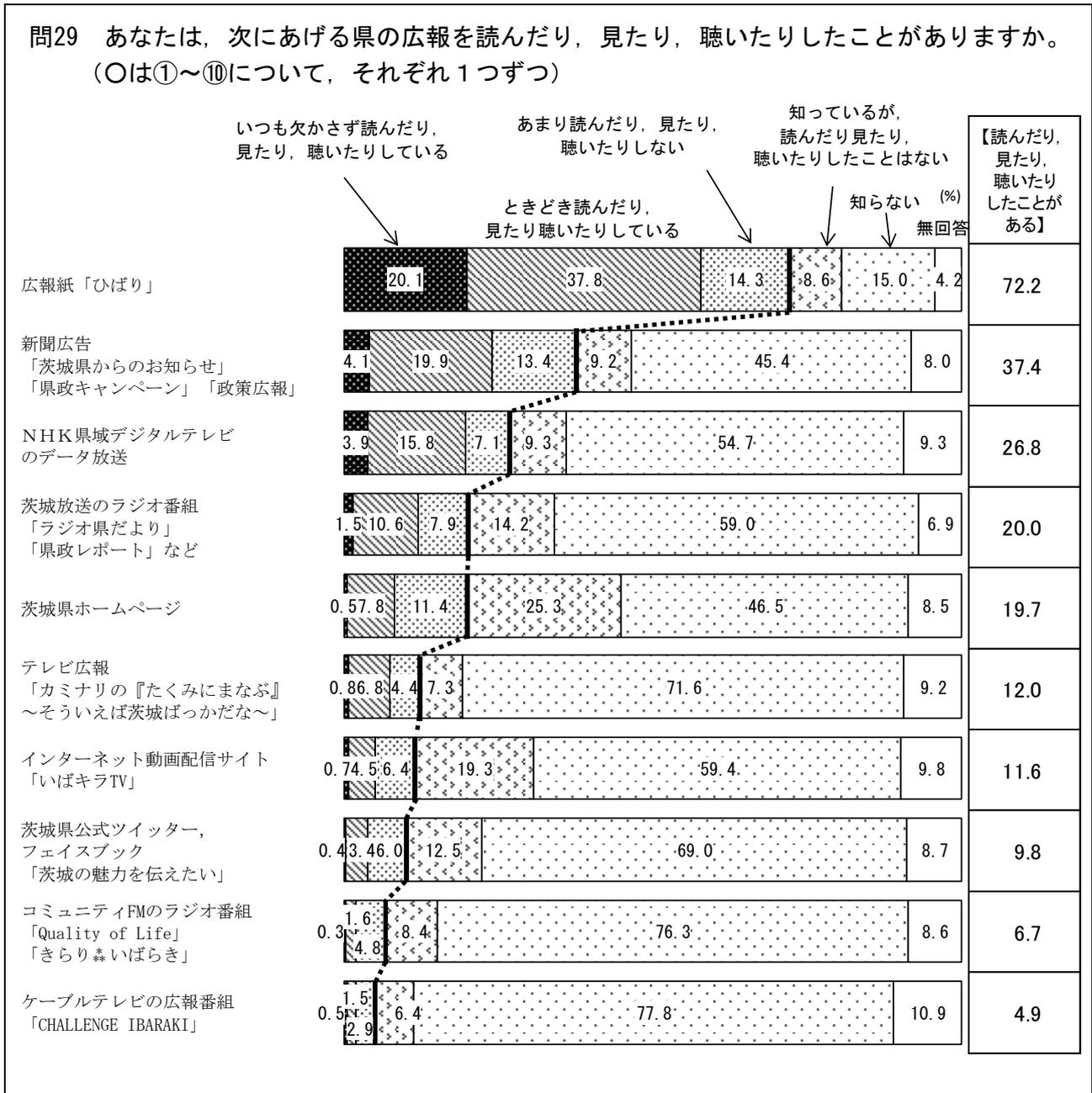
ツイッター, フェイスブックなどのSNS
 自治会・婦人会・老人会など
 市町村役場から直接
 県のホームページ
 県庁・出先機関から直接
 県政情報を手していない

(%)



4. 広報媒体への接触状況

－「広報紙『ひばり』」の【読んだり、見たり、聴いたりしたことがある】が7割超－



広報媒体への接触状況について、「いつも欠かさず読んだり、見たり、聴いたりしている」、「ときどき読んだり、見たり聴いたりしている」、「あまり読んだり、見たり、聴いたりしない」を合わせた【読んだり、見たり、聴いたりしたことがある】でみると、「広報紙『ひばり』」(72.2%)が7割を超えて最も高く、次いで、「新聞広告『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』『政策広報』」(37.4%)が約4割、「NHK 県域デジタルテレビのデータ放送」(26.8%)が2割台半ばで続いている。

－女性で「広報紙『ひばり』」の【読んだり、見たり、聴いたりしたことがある】が男性よりも約8ポイント高い－

性別でみると、「広報紙『ひばり』」の【読んだり、見たり、聴いたりしたことがある】は、女性（76.2%）が男性（68.3%）よりも約8ポイント高くなっている。

－65～69歳で「広報紙『ひばり』」の【読んだり、見たり、聴いたりしたことがある】が8割台半ば－

年齢別でみると、「広報紙『ひばり』」の【読んだり、見たり、聴いたりしたことがある】は、65～69歳（85.7%）で8割台半ばと最も高く、次いで、60～64歳（80.4%）、70歳以上（80.8%）で約8割と高くなっている。

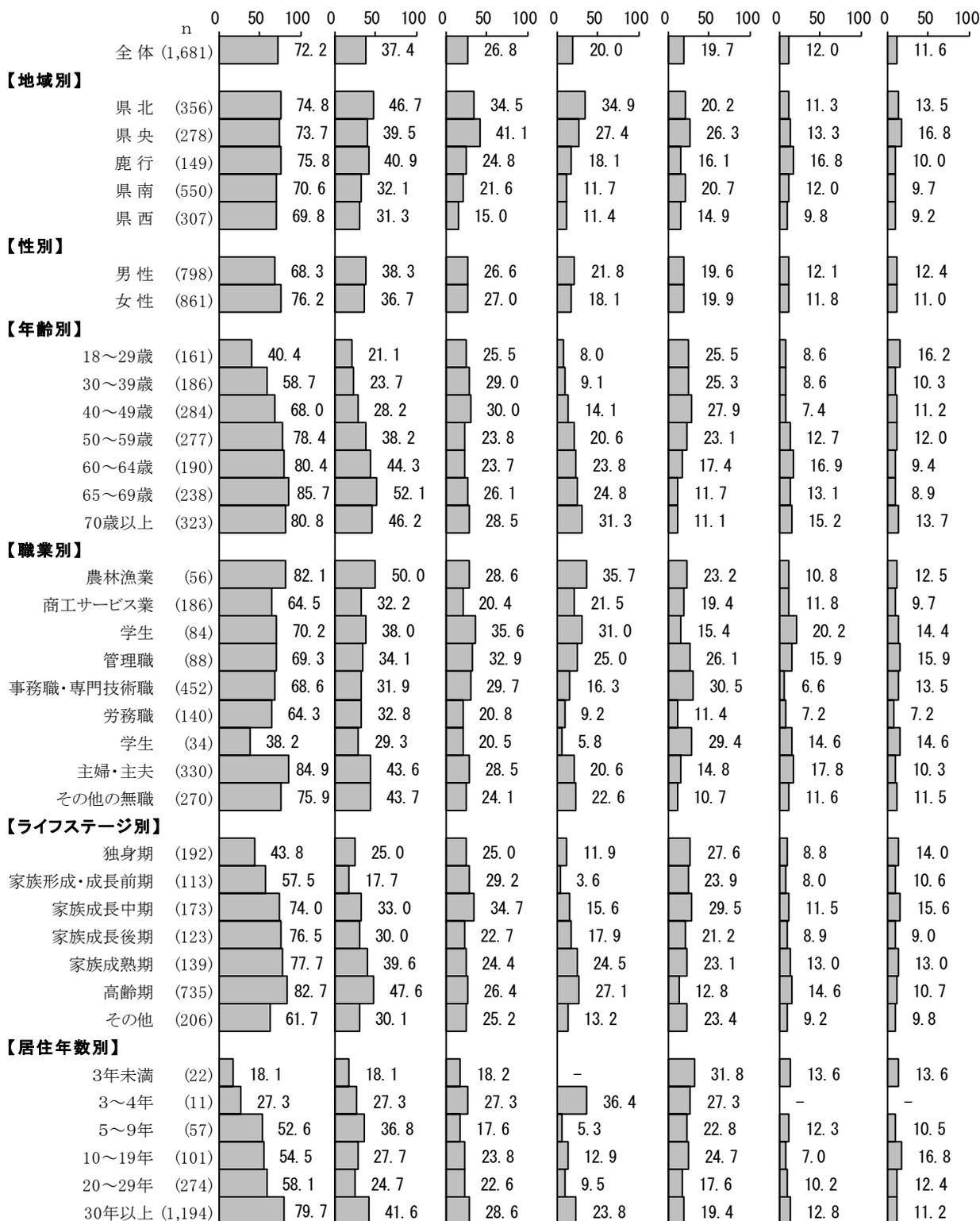
－主婦・主夫で「広報紙『ひばり』」の【読んだり、見たり、聴いたりしたことがある】が8割台半ば－

職業別でみると、「広報紙『ひばり』」の【読んだり、見たり、聴いたりしたことがある】は、主婦・主夫（84.9%）で8割台半ばと最も高く、次いで、農林漁業（82.1%）で8割を超えて高くなっている。

図Ⅷ 29-1 広報媒体への接触状況（【読んだり，見たり，聴いたりしたことがある】）
（地域別，性別，年齢別，職業別，ライフステージ別，居住年数別—上位7媒体）

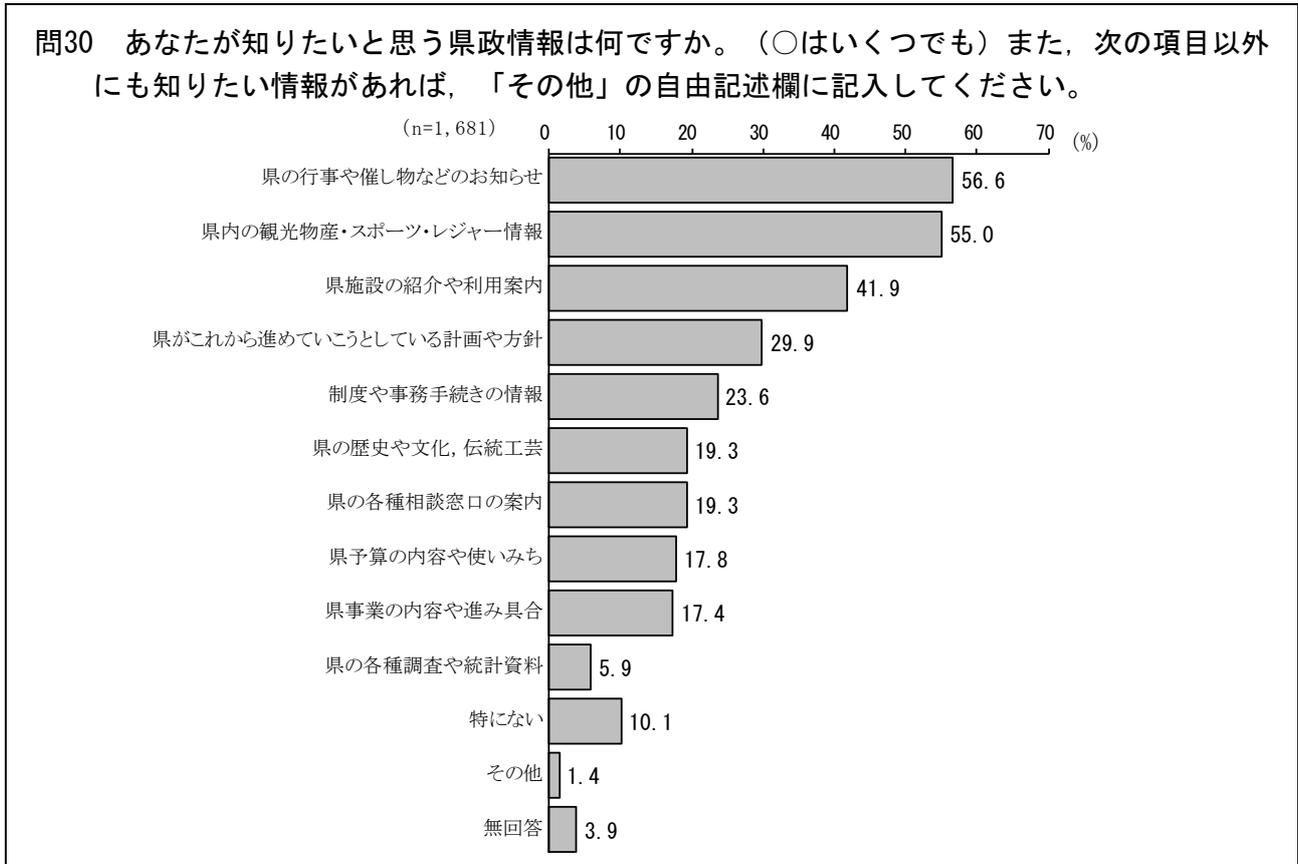
広報紙「ひばり」
 新聞広告「茨城県からのお知らせ」「県政キャンペーン」「政策広報」
 NHK県域デジタルテレビのデータ放送
 茨城放送のラジオ番組「ラジオ県だより」「県政レポート」など
 茨城県ホームページ
 テレビ広報「カミナリの『たくみにまなぶ』～そういえば茨城ばっかだな～」
 インターネット動画配信サイト「いばキラTV」

(%)



5. 知りたい県政情報

－「県の行事や催し物などのお知らせ」と「県内の観光物産・スポーツ・レジャー情報」が5割台半ば－



知りたい県政情報としては、「県の行事や催し物などのお知らせ」（56.6%）と「県内の観光物産・スポーツ・レジャー情報」（55.0%）が5割台半ばで高くなっている。次いで、「県施設の紹介や利用案内」（41.9%）が4割を超え、「県がこれから進めていこうとしている計画や方針」（29.9%）が約3割で続いている。

－鹿行で「県の行事や催し物などのお知らせ」が6割台半ば－

地域別でみると、「県の行事や催し物などのお知らせ」は、鹿行（63.1%）で6割台半ばと最も高くなっている。

－女性で「県の行事や催し物などのお知らせ」が男性よりも約7ポイント高い－

性別でみると、「県の行事や催し物などのお知らせ」は、女性（60.3%）が男性（53.0%）よりも約7ポイント高くなっている。

－女性の18～29歳で「県の行事や催し物などのお知らせ」が約7割－

性・年齢別でみると、「県の行事や催し物などのお知らせ」は、女性の18～29歳（69.3%）で約7割と最も高くなっている。

－女性の30代で「県内の観光物産・スポーツ・レジャー情報」が7割超－

性・年齢別でみると、「県内の観光物産・スポーツ・レジャー情報」は、女性の30代（72.1%）で7割を超えて最も高くなっている。

図Ⅷ 30-1 知りたい県政情報

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位7項目)

